

外国語科（英語コミュニケーションⅠ）・公民科（公共）学習指導案									
日時		令和4年10月19日（水）第6時限			指導者		尾崎慎太郎・谷口治義・Mishal Butt		
学級		理数科・普通科 1年1・2組 A講座			教室		212教室		
単元		Lesson 5 Respecting Each Other			教科書		ELEMENT English Communication I (啓林館)		
指導目標		1 メジャーリーグのある試合での出来事に関する話を読み、英語で音読や要約をさせる。 2 関係代名詞や関係副詞を用いて、平易な英文を作らせる。 3 共生社会を実現するために何ができるかについて解決策を考え、英語で発表したり話し合ったりする。			指導計画		1 Introduction・・・・・・・・・・1時間 2 Scene 1・・・・・・・・・・1時間 3 Scene 2・・・・・・・・・・1時間 4 Scene 3・・・・・・・・・・1時間 5 Scene 4・・・・・・・・・・1時間 6 Summary・・・・・・・・・・2時間 (本時はその2時間目)		
本時の目標		主 題 共生社会を実現するために何ができるかを考えよう。 1 英語プレゼンテーションやディスカッションを通して、主体的に英語を話したり聞いたりすることができるようにさせる。 2 共生社会の実現のために何ができるかについて、自分の考えを英語で的確に発信しようとする態度を養う。							
課題		英語プレゼンテーションを完成させて、練習しておく。							
学習活動		時間		留意事項など(ALの視点を含む)		評価基準・方法、資料等			
導入		1 Greetings 2 Warm-up Activity		5		・主体的に英語を使う雰囲気を作らせる。		・タブレット端末	
展開		1 Presentation by Students (1)Mr. Nakamura Tetsu (2)Ms. Ogata Sadako (3)Mr. Iwamura Noboru 2 Presentation by ALT 3 Mr. Taniguchi's Lecture 4 Discussion in Groups How can we create a collaborative society?		1 5 5 5 1 5		・英語を用いて堂々と発表させる。 ・ワークシートを配布して、生徒に評価をさせる。 ・ALTの出身国カナダにおいて世界に貢献した人物に関する発表を聞かせる。 ・公民科教員が、生徒の発表に関する講評と問題提起をする。 ・共生社会の実現に向けたアイデアを、グループで共有させる。 ・グループでのディスカッション内容を全体で共有させ、教師がコメントをすることで、理解を深めさせる。		・ワークシート 【評価基準】 A 班員と協力し、聴衆と目を合わせて、堂々と英語で発表できている。 B 詰まりながらも、自分の力で英語を使って伝えようとしている。 C 原稿を見ながら、英語を伝えようとしている。 【評価方法】 ○観察 【評価基準】 A 班員と協力して、問題解決に向けて、積極的に英語で話し合いができている。 B 自分の役割を果たし、自分の力で英語を使って伝えようとしている。 C 自分の考えを記した付箋を英語で読んでいる。 【評価方法】 ○観察	
整理		1 Reflection 2 Conclusion		5		・ワークシートを用いて本時の学習内容を振り返らせる。		・ワークシート	
備考		理数科・普通科 生徒数 40名							